



「やさしさ」を抱きしめよう

社会福祉法人 西予市社会福祉協議会

社協
だより

おあしす

第28号

平成26年

7月20日発行



- ◆ 会長就任のご挨拶・退任のご挨拶 P2
- ◆ 新役員名簿・平成25年度事業報告 P3
- ◆ 平成25年度収支決算・貸借対照表 P4
- ◆ 平成26年度事業計画及び予算 P5
- ◆ 社協会員加入のお願い、赤十字社員増強運動のお願い、社協事業紹介、 P6
- ◆ ボランティアアチャレソング2014 P7
- ◆ まごころ銀行のお願い、編集後記 P7
- ◆ 傾聴ボランティア養成講座(中級編)受講生募集、コラム(近所「近助」)... P8
- ◆ 人形劇上映会のご案内

「手つなぎボランティア」(城川地区)

平成26年5月30日(金)土居小学校周辺にて、西予市城川町赤
奉仕団と土居小学校児童による、「手つなぎボランティア」を開
催しました。

今回は、「福島のまわり里親プロジェクト」として、福島県か
ら送られてきた「ひまわりの種」から育つた苗を植えました。
この夏、大きくなるひまわりからたくさん種の採り取り、
被災地の福島県に「復興のサンボリ」となるよう再びお届けす
る予定です。

西予市社会福祉協議会の 新役員が選任されました

平成二十六年六月二十九日（日）西予市社会福祉協議会本所において、理事会が開催されました。
理事会において、西予市社会福祉協議会の第四代会長に医療関係者の宇都宮大朗理事が、副会長には、西予市民生児童委員協議会副会長の河野秀雄理事が選任され、同日、就任されました。

会長就任のご挨拶



宇都宮大朗会長

この度、六月二十九日開催の西予市社会福祉協議会理事会において、理事各位のご推挙を賜り、会長職を務めさせていただくことになりました宇都宮大朗と申します。

過疎化や少子高齢化社会の到来が叫ばれて久しい中、地域における福祉課題や生活課題が複雑・多様化するとともに潜在化する社会に対して、地域の福祉力や支えあいが一層、強く求められております。

また、国の地域医療・介護総合確保推進法の成立を受け、介護サービス分野での新たな対応が「待たなし」の状況に置かれております。

このような情勢を踏まえ、本会では、社会的弱者の皆さんに寄り添い「いつまでも元気で、幸せに暮らしたい」との思いを叶えるべ

く、役職員一丸となり、福祉サービス提供に努めて参ります。
市民の皆さまの変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶

西予市社会福祉協議会

前会長 山本恒子

本格的な夏の到来ですが、皆さまにおかれましては、お健やかに過ごしのことを存じます。

平成二十一年より五年間、会長を務めさせていただきましたが、この度、退任させていただきますこととなりました。

未熟な私ではございましたが、行政・自治会・福祉・教育関係機関及び各団体はじめ多くの皆さま方のご指導・ご支援により、大過なく任務を終えることが出来たこと、心より厚くお礼申し上げます。大変お世話になりました。

今、さまざまな思いがよみがえって参りますが、三年前の東日本大震災の折、災害義援金のお世話をさせていただきましたが、市民の皆さまより多くの善意を寄せていただきましたことが、特に印象深く残っています。皆さま方の温かいお心が被災地の皆さまに届いたことと思います。また、西予市社会福祉大会では、”人と人とのふれあい・絆・支えあう心”を市民の皆さまとともに学ばせていただきました。この福祉の心をこれからも大切に参りたいと思っております。

今、国は介護保険制度の改正や社会福祉法人のあり方などについて、検討を進めています。このように社会福祉を取りまく環境は大変しくなってきましたが、このような時こそ、社会福祉協議会の果たす役割は、ますます高まってくるものと思われれます。

西予市社会福祉協議会のますますのご発展と、市民の皆さまのご健勝・ご多幸を心よりご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

任期 理事・監事：平成26年6月29日～平成28年6月28日
 評議員：平成26年6月26日～平成28年6月25日



松二 本宮 正宇 志明	監事 (二名)	三是萩奥上清増山中芝三横松	理事 河野 秀雄	副会長 宇都宮 大朗	会長 源正樹
		好澤森田甲家田本村 好山山			
		幸孝照昌雅浩 綾萬かず博			
		二次美美文之清子博子勇文清			

井勇岡河酒稲上土兵西松田一千山富佐黒大上正大中田入米古中川菊源
 上 澤野井葉元居頭崎本中色葉下永藤田崎甲司保賀中船森谷山中池
 洵真美幸節彌明久 裕計正信道重祥ハ周五清 六敏清幸美和昭俊正
 一喜和 一男子子生恵子績子夫男吾俊政一ヨ見郎春弘仁幸一長夫彦子史夫樹

平成25年度 西予市社会福祉協議会 事業報告

近年、少子高齢化や世帯構造の変化等を背景に地域のつながりが希薄化しており、また長引く景気の低迷や雇用の悪化などに伴って、社会的孤立と経済的困窮を要因とした、様々な福祉課題、生活課題が深刻化してきている。

こうした多様な課題へ対応していくためには、地域の福祉力を高めていくことが不可欠であり、一人ひとりが地域の生活・福祉課題に気づき、受け止め、その解決に向けて提案・実践していくことが必要である。

そうしたことから、当協議会では、縮小傾向にある公的財源に対応すべく経営基盤の強化及び公益的な役割と使命を果たしながら、住民の皆さんが、「いつまでも元気で幸せに暮らしたい」という思いを叶えるべく、行政をはじめ市民活動団体やボランティアとの連携・協働によって重点項目に沿った事業を有効に展開した。

事業の実施状況

【1】法人運営の基盤となる市社協運営体制の整備と基盤強化

理事会・評議員会・監査会の開催（理事会2回実施・評議員会2回実施・監査会1回、監事による現地調査1回実施）、社協だより「おあしす」の発行及び支所だよりの発行、支所長会や経営会議等の開催（延べ10回）、まごころ銀行運営委員会（2回）、第5回西予市社会福祉大会の開催（約800人参加）、全戸会員制会費の推進（実績6,966,250円）

【2】各種募金等運動への協力・推進

○日本赤十字社員増強運動
 (1) 募集期間 平成25年5月から6月

(2) 実績 6,183,836円

○共同募金運動

(1) 運動期間 平成25年10月から12月
 (2) 実績 11,265,384円

○歳末たすけあい運動

(1) 運動期間 平成25年11月から12月
 (2) 実績 4,287,358円

○まごころ銀行

社会福祉協議会活動の貴重な財源として、本所及び各支所にまごころ銀行を設置し、広く市民の寄附をいただいた。

寄附額 7,867,399円

【3】災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修への参加

【4】各種事業の推進

○地域福祉事業の推進

地区社協育成事業、高齢者支援事業、生きがい活動支援通所事業、外出支援サービス事業、家族介護支援事業、給食サービス事業、ふれあいのまちづくり推進事業等

○ボランティア活動の推進

各種ボランティア養成講座等

○総合福祉相談・援助事業の推進

心配ごと相談所開設・法律相談所開設等

○在宅福祉サービスの推進

居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴介護事業、居宅介護等事業、移動支援事業、配食サービス事業

○安心カードみまもり支援事業

安心キットの周知及び配布

○その他

生活福祉資金事務費委託事業、小口資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業

るその人らしい生活を送れるように支援することを目標とした。そのために、地域の保健・医療・福祉サービスや各種社会資源などの地域包括ネットワークを構築し、出来る限り要介護状態にならないように包括的・継続的に支援をおこなった。

【5】西予市地域包括支援センター事業
高齢者が住み慣れた地域で、継続して尊厳

平成 25 年度 資金収支決算総括表

(単位：円)

	収入の部			支出の部			
	一般会計	収益事業特別会計	公益事業特別会計	一般会計	収益事業特別会計	公益事業特別会計	
総合計	会費収入	6,966,250		人件費支出	233,667,560	66,601,303	
	寄附金収入	7,867,399		事務費支出	10,095,066	216,215	
	経常経費補助金収入	70,909,856		事業費支出	39,289,129	131,779	
	助成金収入	434,480		貸付事業等支出	172,500		
	受託金収入	13,423,300		共同募金配分金事業費			
	事業収入		421,000	助成金支出	9,815,600		
	貸付事業等収入	147,500		負担金支出	20,000		
	共同募金配分金収入	12,610,087		仕入		290,080	
	介護保険収入	183,838,767		会計単位間繰入金支出		528,334	
	自立支援費等収入	12,388,860		経理区分間繰入金支出	30,164,193		
	利用料収入	83,000					
	雑収入	1,423,370				5,000	
	受取利息配当金収入	93,156	95			2,108	
	会計単位間繰入金収入	528,334					
	経理区分間繰入金収入	30,164,193					
	経常収入計	340,878,552	421,095	80,657,184	経常支出計	323,224,048	421,859
	施設整備等収入計				施設整備等支出計	2,199,300	
財務収入計	1,585,872			財務支出計	5,636,524		
収入小計	342,464,424	421,095	80,657,184	支出小計	331,059,872	421,859	
前期末支払資金残高	231,429,898	596,972		当期末支払資金残高	242,834,450	596,208	
収入の部合計	573,894,322	1,018,067	80,657,184	支出の部合計	573,894,322	1,018,067	

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

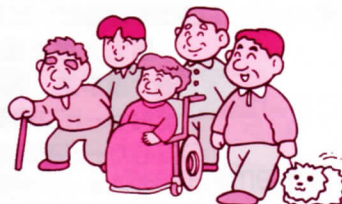
(単位：千円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	277,994
固定資産	262,928
（基本財産）	5,000
（その他の固定資産）	257,928
資産の部合計	540,922
負債の部	
流動負債	34,564
固定負債	82,128
負債の部合計	116,692
純資産の部	
基本金	5,000
国庫補助金等特別積立金	1,158
その他の積立金	167,041
次期繰越活動収支差額	251,031
純資産の部合計	424,230
負債及び純資産の部合計	540,922

公的財源の縮減や法的制度の度重なる改正等に左右されながらも、先行き不透明な時代にあつて、無情にも地域に蔓延しようとしている無縁社会、孤族社会における地域福祉の課題をしっかりと見極め、行政や各機関団体等との連携・協働を進めながら、住民の皆さんが、「いつまでも元気で、幸せに暮らしたい。」という思いを叶えるべく、平成二十六年度においても、次に掲げる五つ重点項目の強化を中心に事業を実施する。

I 事業基本方針

平成二十六年度
西予市社会福祉協議会
事業計画



II 重点項目

- i 市社協運営体制の整備と基盤強化
- ii 地域福祉推進力の強化
- iii 福祉利用者支援の強化
- iv 福祉人材の強化
- v 地域包括支援の強化

III 推進項目・実施事業

【1】市社協の運営体制の整備と組織・財政基盤強化関連事業の推進
 本会の組織・財政等への影響に對して的確に對応していくことに、効率的な事務局体制の基盤整備を図る。

【2】住民参加の地域福祉推進力の強化
 「新しい社協づくり」を目指して、社協が理念として掲げる住民主体の原則を再認識し、社協の組織活動の使命といえる住民参加の地域福祉推進力（福祉のまちづくり）の向上を図る。

【3】良質な福祉サービス提供へ向けた事業の推進
 介護保険や障害者総合支援など、利用者自身の選択権が尊重されるようになり、福祉サービスの理念として、利用者本位のサービスを進めるに当たり、社協本来の役割である良質なサービス提供の環境づくりに向けた事業を推進する。

【4】民生児童委員、生活支援・相談活動の充実及び総合相談体制の確立
 地域福祉推進の担い手としての役割を持つ民生児童委員に對して、民生児童委員活動原則を踏まえ、援助活動と組織的実践活動を支援する。

併せて、市社協の総合相談窓口機能の強化を図り、住民の多様な生活課題に對応するため、関係諸機関との連携・協働体制をより密接化する事業を推進する。

【5】ボランティア活動への支援
 地域福祉推進の原動力となるボランティア活動を支援する。

【6】福祉人材養成・確保に関する事業の実施
 質の高い福祉人材の養成・確保及び介護技術等の充実強化と普及を推進する。

【7】地域福祉活動の推進
 市民が福祉サービスをより身近な地域で受けられるよう、支所活動の充実を図り安心して暮らせるまちづくりに取り組む。

【8】地域包括支援事業の推進
 西予市から委託を受け、地域包括支援センターを設置し高齢者等への支援を推進する。

【9】東日本大震災に関する支援

平成 26 年度 予算総括表

(単位：千円)

	収入の部			支出の部			
	一般会計	収益事業特別会計	公益事業特別会計	一般会計	収益事業特別会計	公益事業特別会計	
総合計	会費収入	6,930		人件費支出	248,717	70,634	
	寄附金収入	6,991		事務費支出	10,694	231	
	経常経費補助金収入	75,175		事業費支出	39,257	75	
	助成金収入	434		貸付事業等支出	150		
	受託金収入	12,445		共同募金配分金事業費			
	事業収入		240	助成金支出	9,661		
	貸付事業等収入	150		仕入		166	
	共同募金配分金収入	13,885		会計単位間繰入金支出		551	
	介護保険収入	187,249		経理区分間繰入金支出	28,970		
	自立支援費等収入	13,972					
	利用料収入	60					
	雑収入	1,008					
	受取利息配当金収入	143	1				
	会計単位間繰入金収入	551					
	経理区分間繰入金収入	28,970		経常支出計	337,449	241	
	経常収入計	347,963	241	施設整備等支出計	2,445		
	施設整備等収入計			財務支出計	5,908		
	財務収入計	1,348		予備費	150		
	収入小計	349,311	241	86,676	支出小計	345,952	241
	前期末支払資金残高	243,129	573		当期末支払資金残高	246,488	573
収入の部合計	592,440	814	86,676	支出の部合計	592,440	814	

平成26年度 西予市社会福祉協議会 会員加入のお願い

西予市社会福祉協議会では、市民の社協活動への参画並びに民間団体としての自主性の強化を図るため「会員制度」を設け、毎年7月から8月にかけて会員の募集と会費納入のお願いを行っております。

皆さまからいただいた会費は、全ての住民が生き生きと暮らすことのできる「福祉のまちづくり」をすすめる貴重な財源になります。

今年度も引き続き会員加入へのご協力をお願いいたします。



平成26年度 赤十字社員増強運動のお礼

平成26年度 社資実績金額
(平成26年6月30日現在)

地区名	社資額
本所(野村)	1,376,500 円
明浜支所	629,298 円
宇和支所	2,297,592 円
城川支所	579,000 円
三瓶支所	1,306,515 円
合計	6,188,905 円

平成26年5月1日から31日までの間、全国一斉に赤十字社員増強運動が実施されました。

西予市地区におきましても本運動を実施いたしましたところ、多大なご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

皆さまからいただきました社資(社費・寄付金)は、国内外における災害救援活動、血液・医療事業の推進、看護師の養成、日赤奉仕団及び青少年赤十字の育成等、赤十字の各種事業に活用されております。

地域の皆さまには、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも赤十字活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成二十六年五月十六日から七月二十五日までの全十回の日程で「平成二十六年度点訳ボランティア養成講座」を開催しています。

受講生の皆さんは点訳の読み方、書き方などについて基礎から学び、毎回熱心に取り組んでおられます。

講座修了後は、視覚障害者の方などを支えるボランティアとして、活躍されることを期待しています。

赤い羽根共同募金配分事業
点訳ボランティア
養成講座を開催

ボランティアチャレンジ2014

自分に出来ること、探してみませんか！ボランティアガイドブック(西予市社会福祉協議会本所または各支所にて配布)または下記のホームページをご覧ください！

愛媛ボランティアネット

検索

愛媛ボランティアネット <http://nv.pref.ehime.jp/>

【お問合わせ】

西予市社会福祉協議会本所または各支所

愛媛県男女参画・県民協働課 TEL089-912-2305



まごころ銀行のお礼 (平成26年3月1日~6月30日 72件)

まごころ銀行にご寄付をいただき、ありがとうございます。

まごころ銀行は、市民の皆さまからの善意の預託金品（香典返し、お見舞い返し等）をお預かりし、預託された方の意志に基づき「ふれあい・いきいきサロン」事業などの様々な在宅サービスなど、広く地域の社会福祉の推進に役立てております。

本所 29件

※敬称略・順不同

那須利行	長山ウメノ	水野博起	菊池繁光
大森紀代子	山口光男	賀原国男	岡澤壽
兵頭学	大塚俊雄	阿部公典	大森詔二
谷本昭	山口源文	福井時子	薬師神雄二
林武次	三好英樹	渡辺美鈴	兵頭俊子
兵頭充	宮岡利郎	井関一史	清水理
渡辺洋	水野良文	泉原皓彦	二宮実喜男
大塚洋介			

明浜支所 2件

川崎美里	中村利男
------	------

宇和支所 23件

清家富昭	松本薫	宇和町更生保護女性会宇和支部会員一同	
北野功人	宇和町傷痍軍人会	西予市傷痍軍人会	三好春子
松下信孝	宇都宮岩彦	古谷博康	笹山準一
宮崎和子	郷緒進	河野一道	清水洋二
宇和歌謡愛好会	村上新一	加藤好文	安岡清次
末光啓二	松本輔夫	兵頭芳克	岡本健

城川支所 16件

宮口光男	伊原八重	森岡光雄	熊谷孝道
河野孝志	河野晃男	島内正芳	亀井千恵
山中義富	水野世紀	黒田吉三	水野勇喜子
藤本勇	矢野健一	佐伯佳之	三瀬寿美雄

三瓶支所 2件

西予地区更生保護女性会三瓶支部	きゃんぱす歌謡教室
-----------------	-----------

まごころ銀行に対する寄付金は、所得税法第78条第2項第2号・法人税法第37条第3項第2号の規定に基づき、税制上の優遇措置があります。

また、寄付金の8割は本所・各支所が実施する事業に活用し、2割を西予市社協全体が実施する地域福祉事業に活用します。

ありがとう



編集後記

「想定外」の災害が多発している昨今。台風や集中豪雨、それに伴う土砂崩れなど、夏は、水にまつわる災害が多い季節です。もしものことが起きた時、何より頼りにすべきなのは、まず自分自身と家族。次に近所とのつながりです。大切な命を守るため、改めて防災について考えてみてはどうでしょうか。避難グッズをそろえておく事をお勧めします。

暑い日が続きますが、無理をなさらずご自愛ください。(F・F)



傾聴ボランティア養成講座 **中級編** 受講生募集

不安や悩みを抱える方に対して、心を込めて聴くことで相手の心に寄り添う「傾聴ボランティア」の中級過程の養成を行います。

講義や演習を通して、対人援助の基本である「他者の理解と共感」について、入門編よりも更に内容を深めて学びます。

【申込み・問い合わせ先】
西予市社会福祉協議会宇和支所
TEL 0894-62-3770まで！

【対象】 傾聴ボランティアに関心があり、入門課程を受講された方

【定員】 20名（申し込み多数の場合は先着順）

【日程】 ①9/17 ②9/24 ③10/1 ④10/8 ⑤10/15
(全5回・毎回水曜日) 14:00~16:00

【会場】 西予市社会福祉協議会宇和支所

【講師】 (社)日本産業カウンセラー協会
本部理事 田中 節子 氏

【受講料】 無料

【締切り】 9月8日(月)

【申し込み】 電話申し込み



この「近助」は、防災だけに限らず、日頃の悩み事や困り事、地域の課題解決などにも繋がっていくと期待され、より安心して、豊かに暮らせる地域づくりには欠かせないものだと思います。

阪神大震災の際、建物の下敷きになるなどして、三万五千人が自力で脱出できない状況となりましたが、そのうちセブパーセントも人が家族・近隣住民により助け出されたとのこと。

災害による被害を未然に、または最小限に抑えるためには「自助」「共助」「近助」「公助」の連携が大切だと言われています。しかし、大規模な災害が発生したときには、「公助」の行政だけで対応することは困難で、住民同士が協力し合って自分たちの身を守る「共助」と「近助」が防災の要となつてきます。

近所で近助 近所同士で助け合う関係 つくりませんか？



「近所」を「互近助」に。個人主義の浸透や生活スタイルの変化などにより、地域の結びつきが希薄化したと言われる現代ですが、まず日頃からお互いに気を掛け、挨拶や声掛けから始める「顔の見える関係づくり」をすすめることが、災害に強く、助け合える地域づくりに繋がっていくと思います。



原作・絵 宮西達也
すずき出版刊より

にゃーご

脚本・演出...どむならん
美術...うねのたえこ
音楽...細江祐司

親子ふれあい劇場
人形劇団どむならん
ねこやねずみが
うたって踊る！
リズムカルなお話です

7月27日(日) 14:00~15:00
（開場13:50）
宇和児童館「うわっこ」

お問合わせ：西予市社会福祉協議会宇和支所
TEL 0894-62-3770

入場無料

西予市社会福祉協議会本所	西予市野村町野村12号15番地	TEL(0894) 72-2306
明浜支所	西予市明浜町高山甲3657番地	TEL(0894) 69-8066
宇和支所	西予市宇和町卯之町四丁目746番地	TEL(0894) 62-3770
城川支所	西予市城川町下相938番地	TEL(0894) 82-1266
三瓶支所	西予市三瓶町朝立1番耕地360番地1	TEL(0894) 33-3046
西予市地域包括支援センター本所	西予市野村町野村12号15番地	TEL(0894) 72-0022
支所	西予市宇和町卯之町四丁目746番地	TEL(0894) 62-7730